

1998年11月27日
その日、日本のインターネット人口は
急増した!



11月27日、湯川専務のテレビコマーシャルでおなじみの次世代ゲームマシン「Dreamcast」がついに発売された。このマシンの最大の特徴は、なんととってもモデムを標準で搭載しているという点にある。インターネットに接続することによって、Dreamcastは今までのゲームマシンの枠に収まらない新しいエンターテインメントの世界をユーザーに与えてくれることだろう。この、注目のネットワーク機能を中心にDreamcastの魅力徹底解説しよう。

インターネットマガジン編集部
Photo: Nakamura Tohru

ドリーム キャスト 徹底レビュー

ネットワークによりさらなる
可能性を秘めた次世代ゲームマシン

Dreamcastの 実力に迫る!

ネットワーク機能を標準装備したインターネット時代にふさわしいゲームマシン「Dreamcast」。このマシンの注目点はモデムが標準装備されているという点だけではない。Dreamcastのスペックを見れば、これが今までのゲームマシンとはまったく次元の異なるものだということがわかるだろう。



本体正面

① GD-ROM

記憶メディアとして新規規格のGD-ROMを採用。メディア容量は約1Gバイト。通常のCD-ROMメディアとは違い、GD-ROMメディアは角速度一定方式を採用しているため、内周ほど記録密度が高くなっている。音楽CDも再生できる。

② コントローラー接続ポート

Dreamcast本体に付属のドリームキャスト・コントローラーのほか、別売りの各種専用コントローラーやキーボードなどを接続する。

③ ウィンドウズCEロゴ

DreamcastはOSとしてマイクロソフト社のウィンドウズCEカスタムバージョンを採用しているため、本体にウィンドウズCEのロゴがプリントされている。



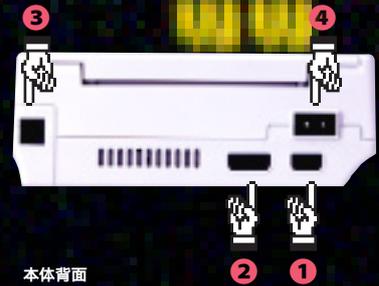
ドリームキャスト・キーボード

PC/AT互換機の109日本語キーボードと同配列のキーボード。ただし、テンキー部分はない。また、左側のウィンドウズキーは「S1」、右側のウィンドウズキーは「S2」、アプリケーションキーは「S3」とプリントされている点が、109日本語キーボードとは異なる。



ビジュアルメモリー

液晶画面のついたメモリーカード。ドリームキャスト・コントローラーの拡張ソケットに接続して利用する。ゲームのデータや電子メールを保存するだけでなく、単体でも携帯型液晶ゲーム機として遊んだり、ビジュアルメモリー同士を直接つないでデータを交換したりできる。



本体背面

① シリアルポート

背面にあるシリアルポートには、(株)SNKより発売されているネオジオポケットなどが接続できる予定だ。

② AV出力端子

この端子にDreamcast付属のステレオAVケーブルをつないでテレビと接続する。別売りのS端子ケーブルを利用すれば、さらにクリアな映像を表示できる。

③ モジュラージャック

ここに電話回線を接続する。Dreamcast本体には5メートルのモジュラーケーブルが付属している。

④ 電源

電源は本体に内蔵されている。



本体側面

モデム

33.6Kbpsモデムを標準搭載。モデム部分はより高速な通信機器が登場した場合にも対応できるように、着脱可能になっている。将来的にはさらに高速なモデムやISDNターミナルアダプター、LANアダプターなどが発売されるかもしれない。



ドリームキャスト・コントローラー表面

手にフィットする使いやすい形のコントローラー。コントローラー上部からビジュアルメモリーを装着できる(写真はビジュアルメモリー装着済み)。ビジュアルメモリーは2つまで装着可能だ。



ドリームキャスト・コントローラー裏面

コントローラー裏面にもトリガー型のボタンが左右に1つずつ付いている。このボタンは人差し指で操作する。

Dreamcastの主なハードウェアスペック

CPU	日立製 SH4 128bitグラフィックスエンジン 内蔵 CPU (動作周波数 200MHz、 360MIPS/1.4GFLOPS)
グラフィックスエンジン	NEC製 Power VR2 DC (CG描画性能: 300万ポリゴン/秒以上)
サウンドエンジン	ヤマハ製 スーパー・インテリジェント・サ ウンド・プロセッサ (32bit RISC CPU内 蔵、64チャンネルPCM/ADPCM)
OS	Microsoft Windows CEカスタムバージョン
メインメモリー	16Mバイト
モデム	33.6Kbps (着脱可能)
メディア	GD-ROM (容量: 約1Gバイト)
GD-ROMドライブ	12倍速 (CAV方式)
最大同時発色数	約1677万色
サイズ(幅×奥行×高さ)	190×195.8×75.5mm
本体重量	約1.5kg
付属品	ドリームキャスト・コントローラー、電源ケ ーブル、モジュラーケーブル、ステレオAVケ ーブル、Dream Passport (通信ソフト)、 取扱説明書

本体を買うだけで、すぐにインターネットに接続可能!

「つなぐ」と「使う」が ここまで簡単に

Dreamcastは、本体を購入するだけでインターネットを楽しむように、モデム、モジュラーケーブル、専用通信ソフトの「DreamPassport」が同梱されている。さらに、DreamPassportを使ってセガのサーバーにアクセスすればアカウントが即時発行されるため、買ったその日にすぐインターネットに接続可能だ。

インターネットに簡単接続

Dreamcastを使ってインターネットに接続する方法は非常に簡単だ。付属の通信ソフト「Dream Passport」を起動するとメインメニューが表示される(画面1)。初回起動時には住所などを入力するユーザー登録の画面が表示されるので、それらをすべて入力する。この中の7桁の郵便番号をもとにセガが提供する全国200か所のアクセスポイントの中から一番近いアクセスポイントが自動的に選択され、インターネットに接続できるようになる。その際、アカウント名は6文字以上8文字以内で希望のものが取得でき、メールアドレスは「アカウント名@dricas.com」となる。

本体購入時に2時間のインターネット無料アクセス権が付いており、その後の接続料金は1分5円の従量課金制だ。支払いには株式会社アスキーサムシンググッドが発行するプリペイドカード「WebMoney」を利用する。このカードはコンビニエンスストアやDreamcast販売特約店で販売される。

また、すでに他のインターネットプロバイダーと契約しているならばそのプロバイダーを利用することも可能だ。その場合はメインメニューからオプションを選択し、手動でアクセスポイントの電話番号やアカウント名などを入力する必要がある。

充実した機能を誇る Dream Passport

Dream Passportはインターネットへの接続を行うほか、WWWブラウザ、電子メール、チャットの各機能を装備している。それらはすべてドリームキャスト・コントローラーだけで操作ができるようになっており、文字も画面に表示されるソフトウェアキーボードを使ってコントローラーだけで入力できる。

WWWブラウザはHTML3.2に対応した株式会社アクセスのNetFrontを採用している。



① Dream Passportのメインメニュー。WWWブラウザや電子メール、チャットなど8つのメニューから選択する。



② Dreamcastユーザーのポータルサイト「Dricas」の画面。Dream Passportのメインメニューから「Dricas」を選択すると接続される。



③ Dreamcastユーザーを地図上に表示する「どリーむまっぶ」。近所にユーザーがいるかどうか一目瞭然だ。



④ ビジュアルメモリー同士を接続し、ゲームのデータや電子メール、WWWブラウザのブックマークなどが交換できる。

画面サイズは640×480ドットのVGAだ。メインメニューから「Dricas」を選択すると、Dreamcastユーザーのポータルサイトとも言えるDreamcastオフィシャルホームページ「Dricas」(<http://www.dricas.com/>)に接続される(画面2)。ここではドリームキャストの最新情報のほか、日本地図上にDreamcastを利用しているユーザーがどこにいるかを表示する「どリーむまっぶ」(画面3)、架空のキャラクターと電子メールを交換できる「Mail Chum!」など、数多くのコンテンツが提供される。

電子メールはPOP3に対応しており、メールはビジュアルメモリーに保存できる。メールはオフラインでも書けるので、送信時だけ接続すれば電話代も節約できる。なお、Dream Passportで発行されるメールアドレスは1つだけだ。

チャットはインターネットではポピュラーなIRC(Internet Relay Chat)を採用している。セガは独立したIRCサーバーを用意しており、ユーザーはDream Passportを使ってそのIRCサーバーにアクセスすれば、すぐにチャットを楽しめる。通常のパソコンからも、IRCクライアントソフトを利用すればIRCサーバーにアクセスできるので、PCユーザーとのチャットもできる。

ビジュアルメモリーで情報交換

Dreamcast本体には記憶装置が内蔵されていないため、メールの保存やWWWブラウザのブックマークなどはすべてビジュアルメモリーに保存される。ただし、記憶容量は128Kバイトと小さいので、すべてのメールを保存するのは無理だろう。Dream Passportでは必要なメールのみを選択して保存できるようになっている。

ビジュアルメモリーの特徴は、Dreamcastを介さずに単体でデータの交換ができる点だ(画面4)。この機能を利用すれば、学校や職場などの外出先でもビジュアルメモリー同士を接続して、記録されている電子メールやWWWブラウザのブックマークを交換できる。ただし、残念ながらビジュアルメモリーの液晶画面では電子メールを見ることはできない。

また、ビジュアルメモリーの液晶画面は、単体で携帯型ゲーム機としても利用できる。将来的には「インターネットからゲームをビジュアルメモリーにダウンロードして遊ぶ」といった使い方もできるようになるかもしれない。

対戦ゲームからビジュアルメールまで

コミュニケーションの 輪を広げるネットワーク

Dreamcastのネットワーク機能はインターネットだけではなく、ネットワークに対応したゲームやアプリケーションソフトも続々と登場する予定だ。ここでは、これから発売されるネットワーク対応ソフトの中から注目の製品を紹介しよう。

ゲームセンターさながらの 通信対戦が可能

99年1月14日発売予定の「セガラリー2」はすでにゲームセンターでおなじみの対戦レースゲームだ(画面5)。Dreamcast版では、自宅にいながらモデムを使って全国のプレイヤーと同時対戦が楽しめる。このネットワーク対戦にはインターネットではなく専用のネットワークを利用してあり、日本高速通信のサービスを利用して接続する。そのため、通信費は全国どこからでもNTTの回線料込みで1分10円で楽しめる。また東京ならば直接セガのサーバーに接続できるため、NTTの市内通話料金(3分10円)で対戦ゲームが楽しめる。現在のところ、インターネットを利用したゲームは発表されていないが、将来はインターネットを使ってPCユーザ

ーと対戦をするなどの可能性も秘めている。

オリジナルデザインの メールを作れる「Dream Flyer」

もう1つの注目ソフトは、電子メールソフトの「Dream Flyer」だ。このメールソフトは単にメールを送るだけではなく、あらかじめ用意されている便せんや切手を自由に選び、オリジナルデザインのメールを作成できるソフトだ(画面6)。メールの本文はHTMLメールのように色をつけたりフォントサイズを変更したりできる。ただし、このメールのやり取りができるのはDream Flyer同士だけだ。通常の電子メールソフトで受信した場合は本文のみ表示される。発売日や価格などは未定となっているが、今から発売が楽しみなソフトだ。



⑤ ネットワーク対戦に対応した「セガラリー2」。セガのサーバーに接続して、全国のプレイヤーと対戦できる。



⑥ 便せんや切手などを自由に組み合わせてオリジナルのメールを作成できる「Dream Flyer」。

WebTVやインターネット
エクスプローラも登場予定!

まだまだ広がる Dreamcastの世界

来春にはDreamcastを使ったWebTVのサービスが始まり、Dreamcast版のインターネットエクスプローラも登場する予定だ。Dreamcastのインターネット機能は単なるゲームマシンのおまけ程度のものでなく、より本格的なものを目指している。

セガとウェブ・ティービー・ネットワークスとの提携により、99年春からはDreamcastでWebTVのサービスが利用できるようになる。Dreamcast本体に同梱されるWebTVの申込用紙を送付すると後日GD-ROMが送られ、DreamcastでWebTVが楽しめるようになることだ。

WebTVはインターネットのウェブサーバーから直接WWWコンテンツのデータをクライアントで受信するわけではなく、データはいったんWebTV社のサーバーに保存されて、データ量を小さくし、コンテンツが見やすくなるように

処理して送られてくるため、Dreamcastの33.6Kbpsモデムでもストレスなく快適にホームページにアクセスできるだろう。

また、Dreamcast版のインターネットエクスプローラも現在開発されている。機能はインターネットエクスプローラ4.0相当で、HTML4.0やダイナミックHTML、Javaなどをサポートする予定。

このように、Dreamcastは単にインターネットも楽しめるというだけのゲームマシンではない。新しいインターネットの世界を切り開く可能性を秘めたエンターテインメントマシンだ。



WebTV ブラウザーの画面。専用GD-ROMを利用することにより、DreamcastがWebTVのセットトップボックスとなる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp